

備える

大管長会第一顧問  
ヘンリー・B・アイリング管長

最も重要な準備は、若い男性自身が選択を重ねることによってなされていくのです。それは、神権を持つ神の僕に託された偉大な使命を果たすという選択です。

昼夜を問わざどこにいても、わたしのそばにはオリーブ油が入った小さな容器があります。これは仕事場で使っている机の真ん中の引き出しにしまってあるものです。外出中や旅行中にはポケットの中に一つ入れています。家の台所の戸棚にも一つ置いてあります。

今わたしが持っているものには日付が書いてあります。病人の祝福と癒しのために純粋な油を聖別するために、だれかが神権の力を行使した日付です。アロン神権の若い男性、また彼らの父親たちでさえ、わたしの準備の仕方は少し極端だと思うかもしれません。

しかし、日中電話がかかってきたたり、夜間に訪問を受けたりするのは、常に予期しないときです。「すぐに来ていただけませんか」と言われることもあります。数年前、病院にいるある父親から電話がありました。3歳の娘さんが道路の向こう側の母親のところへ走って行こうとして、猛スピードで走る車にぶつかり、50フィート（約15メートル）もね飛びってしまったのです。病院に着くと、何とか神権の力で娘の命を救ってほしいと父親から懇願されました。医師や看護師たちは、わたしたちがプラスチック製の隔離板を介して手を伸ばし、娘さんの頭を覆っている、幾重にも巻かれた包帯のわずかな隙間に油を1滴たらすことをしぶしぶ認めてくれました。医師はいらだちのこもった声で、わたしにこう言いました。「何をするにせよ、とにかく急いでください。危篤状態なのですから。」

医師は間違っていました。医師の言葉とは反対に、娘さんは生き延びただけでなく、再び歩けるようになったのです。

あの電話がかかってきたとき、わたしは用意ができていました。その準備には聖別された油を身近に持つこと以上にずっと多くのことが必要でした。神権の力が必要とされる危機的状況に直面するずっと前から、準備を始めなくてはなりません。備える人は、いつでも応じる用意ができるべきなのです。

準備は、家族、アロン神権定員会、そしておもに、若い男性の私生活の中で始まります。定員会や家族も助けなくてはなりません。しかし、最も重要な準備は、若い男性自身が選択を重ねることによってなされていくのです。それは、神権を持つ神の僕に託された偉大な使命を果たすという選択です。

神権を持つ若人の使命は、病人を癒すために神の力をもたらす備えをする以上にずっと大きなものです。主の再臨に備える世にあって、主が望まれることを何でも行って行う用意をしなくてはなりません。主の用向きがどのようなものか、は

つきりと分かっている人は一人もいないでしょう。しかしあなたたちは、用意するには何が必要か承知しています。ですから、各自で備えることができるのです。

重要な局面や緊急の事態で必要なものは、従順な奉仕を着実に積み重ねていくうちに築かれます。皆さんが必要とする事柄、また用意するのに必要な準備のうち、二つの事柄についてお話しします。

第1は信仰を持つことです。神権は神の御名によって行動する権能であり、天の力を祈り求める権利です。ですから、神が生きておられ、神の目的のために神の力を使わせていただけるよう、自分は神の信頼を得ているという信仰を持たなくてはなりません。

ある人がそのような準備をどのようにしたかが分かる一例をモルモン書から紹介しましょう。ニーファイという名の神権者がいました。主から厳しい任命を受けていました。手遅れになる前に、邪悪な民に悔い改めるよう呼びかけるため、神から遣わされました。邪悪と憎悪がはびこり、民は互いに殺し合っていました。たとえ悲痛な思いをしても、悔い改めて神に従うほど十分にへりくだるには至りませんでした。

ニーファイは準備ができていたために、任務を達成する力を神から祝福されました。ニーファイへの神の愛にあふれた力強い言葉は、わたしたちにとって指針となります。

「ニーファイ、あなたはこれまで行ってきたことのために幸いである。わたしがあなたに授けた言葉を、あなたが根気よくこの民に告げ知らせたことを、わたしは見たからである。あなたは彼らを恐れることなく、また自分の命を得ようとせず、わたしの思いを求め、わたしの戒めを守ろうとしてきた。

さて、あなたがこのように根気よくこのことを行ってきたので、見よ、わたしはとこしえにあなたを祝福しよう。また、わたしはあなたを言葉にも行いにも、信仰にも働きにも、力のある者にしよう。あなたはわたしの思いに反することを求めるないので、まことに、すべてのことがあなたの言葉のとおりに行われるであろう。

見よ、あなたはニーファイであり、わたしは神である。見よ、わたしは天使たちの前であなたに宣言する。あなたはこの民に対して力を持ち、またこの民の惡に応じて飢饉、疫病、破壊で地を打つであろう。

見よ、あなたが地上で結ぶことは何でも天で結ばれ、あなたが地上で解くことは何でも天で解かれるように、わたしはあなたに力を授ける。したがって、あなたはこの民の中で力を持つであろう。」<sup>1</sup>

モルモン書に書かれているとおり、民は悔い改めませんでした。そこで、ニーファイは時節を変えてくださるよう神に頼みました。飢饉のために民が悔い改めを選ぶように奇跡を願い求めたのです。すると飢饉が訪れ、民は悔い改めました。

そしてニーファイに、雨を降らせてくださるよう神に頼んでほしいと懇願しました。ニーファイは神に願い、神はニーファイの確固とした信仰を尊重されました。

そのような信仰は、ニーファイがそれを必要としたときに生まれたのではありません。またニーファイに対する神の信頼も同様です。そのような大きな信仰と神から受ける信頼は、主に対して奉仕を行う中でニーファイの勇敢で着実な働きによって得られたものです。若い男性の皆さんには、将来必要となる時に備えて、今からそのような信仰を築いているのです。

それは執事定員会や教師定員会で注意深く議事録をつけるというような、非常に小さなことかもしれません。かつて、自分よりもわずか数か月年長の少年たちが決めて行った事柄を詳しく議事録に記録した若い男性たちがいました。そのように行うには、12歳の少年であっても、奉仕の業に神から召され、啓示により導きを受けているという信仰が必要でした。昔その定員会の書記を務めた少年たちの中には、今は、教会の管理役員になって、ほかの人が作成した議事録を読む立場の人もいます。そして、皆さんのような少年だったときに仕えた指導者のうえに啓示が注がれたように、今は彼らの頭に啓示が注がれています。「神の王国では、たとえ外見上は小さな事柄にさえも神は御心を啓示される」と確信する備えが彼らにはできていました。

主は、ニーファイを信頼できるのは、神の御心に反することは何も求めないからだと述べておられます。主がニーファイに対してそのような信頼をお持ちになるには、ニーファイが啓示を信じて求め、啓示に従う人物であることを確信しておられなければなりませんでした。神からの靈感に従う長い経験が、ニーファイにとって神権の準備となりました。これは皆さんの準備にも言えることです。

わたしは今日そうした準備が行われているのを目にしています。最近、執事や教師、祭司たちが、総大会の説教のような靈感と力にあふれた話をするのを、わたしは聞いています。若い神権者に力が与えられているのを感じます。わたしたちの周りで新しい世代の波が上げ潮のように高まっているのだと思います。彼らの前に生まれた世代に属するわたしたちも、一緒にその波に乗れるよう祈っています。アロン神権の準備はわたしたち皆にとっても、また彼らの世代とそれに続く世代に属し、奉仕を受ける人々にとっても、祝福です。

けれども、シオンの中ではすべてが完全だというわけではありません。青少年全員が備えの道を選んでいるとは限りません。その選択は各自がすべき選択であり、自分に責任があります。それが主の愛に満ちた計画における主の方法です。しかし、多くの若い男性は準備を助けてくれるはずの人々から支援を受けることがほとんどないか、まったくありません。助けることのできる人々は主から責任を問われるでしょう。息子の信仰の成長や、靈感に従う息子の力を軽んじたり妨げたりする父親は、いつか悲しみを味わうでしょう。こうした若人が備えの神権を持つときに、賢明で適切な選択をするのを助ける立場に置かれた人はだれでも、その責任を果たさなくてはなりません。

次に必要なものは、神が与えてくださる祝福と信頼にこたえて生活できるという自信です。周囲にある影響力の大半は、神の存在や神の愛について、また聖靈と

キリストの御靈を通して静かなメッセージを現実に受けることについて、疑いを抱かせようとしています。仲間から罪悪を選ぶよう強く勧められることもあります。若人が罪を選ぶなら、神からのそうしたメッセージはさらに薄らいでしまいます。

わたしたちは愛と警告と信頼を示すことにより、若人が備えの道を選ぶ助けができます。しかし、忠実で靈感を受けた僕として模範を示すことにより、いっそよく助けることができます。家族、定員会、クラスの中で、またあらゆる交流の場で、神から教わったとおりに神権の力を行使する真の神権者として行動することができます。

わたしにとって、その教えは教義と聖約第 121 章に最も明確に記されています。そこで主は純粋な動機を持つよう警告しておられます。「いかなる力も影響力も、神権によって維持することはできない、あるいは維持すべきではない。ただ、説得により、寛容により、温厚と柔軟により、また偽りのない愛によ〔る。〕」<sup>2</sup> わたしたちが若い男性に指導と影響を与えるとき、自分の高慢や野心を満たすために決して行ってはなりません。またいかなる程度の不義によってでも、決して強制しようとしてはなりません。以上が青少年のために示すべき高い標準の模範です。

わたしは教師と祭司のときにそれが行われるのを目りました。わたしのビショップとそのもとで奉仕する人たちは、わたしたちの一人でも失われることがないよう固く決意していました。わたしの感じるかぎりでは、彼らの決意は何らかの利己的な目的ではなく、主とわたしたちへの愛に動機づけられていました。

ビショップは次のような体制を作りました。すべての定員会の各アドバイザーは、日曜日に話しかけられなかった若い男性一人一人に連絡する必要がありました。欠席している少年については、アドバイザーは本人または両親、親しい友達と話すまでは一日を終えてはいけませんでした。ビショップは、すべての少年について報告を聞くまでは明かりを消さないことを約束しました。ビショップは命令を出したのではないと思います。ただ、その報告をするまでは、アドバイザーたちが自分の部屋の明かりを消さないよう期待していることを明らかにしたのです。

ビショップとそのもとで奉仕する人たちは、わたしたちを見守る以上のことしてくれました。主の羊を世話するというはどういう意味か、模範を示してくれたのです。ビショップやわたしたちが身を置く定員会で奉仕してくれる人々にとって、努力をしそうということはありませんでした。主の奉仕にあって疲れないとはどういう意味か、模範によって教えてくれました。主は模範によってわたしたちを備えてくださったのです。

彼らはわたしたちのだれか一人でも、何らかの特別な人物になると考えていたかどうか分かりません。しかし、あたかもそう考えているかのように世話をしてくれました。わたしたちが信仰を失わないためなら、いかなる個人的な犠牲もいとわないというような姿勢を示してくれたのです。

ビショップがどのようにしてそれほど多くの人にそのような高い期待を抱かせるようにしたかは分かりません。でも、「説得により、寛容により、温厚と柔軟により、また偽りのない愛により」 そうしたのだと言つてよいでしょう。ビショップが用いた「明かりを消さない」 方法は、うまくいかないところもあったでしょう。しかし、すべての若い男性に心を配る搖るぎない姿勢と、素早く手を差し伸べる行動の模範は、わたしたちの生活に天の力をもたらしてくれました。それは今後も常に変わらないでしょう。若い男性が家族や神の王国の中で神に必要とされる時に備えるのを助けてくれたのです。

主は教義と聖約第 121 章の中で、若い男性を備える際に天の助けを受けることについて教えておられます。わたしの父は、その模範をわたしに示してくれました。わたしが若いころ、父は時々わたしの行動にがっかりしました。そして、それをわたしに知らせててくれました。父の話し方から、もっと善い行動ができるはずだと考えていたことが伝わってきました。しかし、父は主の方法を用いました。

「聖靈に感じたときは、そのときに厳しく責めなさい。そしてその後、あなたの責めた人があなたを敵視しないために、その人にいっそその愛を示しなさい。」

3

どんなにあからさまに過ちを正した後でさえ、父の叱責は愛から出たものだと分かりました。事実、反対と失望の表情でこれまでになくわたしをひどくしかったときでさえ、父の愛はさらに深まったようでした。わたしに指導と訓練を与え、決して強制的な手段を使うことはありませんでした。教義と聖約に書かれた約束は、きっと父に対して果たされるでしょう。わたしに与える父の影響は、「とこしえにいつまでも」<sup>4</sup> 流れ込むことでしょう。

多くの父親や指導者は、教義と聖約第 121 章の言葉を聞くと、その標準に達するには、さらに高く向上しなくてはならないと感じるでしょう。わたしもそうです。皆さんは靈感以外の力に動かされて、子供や青少年を厳しくしかったときのことを思い出すことはないでしょうか。自分ではしたくないような行動や犠牲を息子に促したときのことを思い出すことはないでしょうか。しかし、わたしたちは後悔の念に促されて悔い改め、かつて自分が示すと聖約した模範にさらに近づけることもあるのです。

わたしたちは父親や指導者としての務めを果たすときに、次の世代が輝かしい将来に向かって立ち上がるのを助けることができます。皆さんは自分の親よりも良い親になり、自分を助けてくれた立派な指導者よりも良い指導者になろうと努力してきました。そのように、次世代の若人もわたしたちより良い人になることでしょう。

わたしたちが次世代の若人を備えるために、毎日さらに善い行動をする決心を固めるよう祈っています。わたしは、聖別された油の瓶を見る度に、今晚のことと、若い男性たちが将来奉仕する機会に備えるのを助けるために、もっと多くのことをしたいというこの気持ちを思い出します。若人が祝福されて、自分をよく備えることができるよう祈っています。主の助けと、わたしたちの助けがあれば、きっと備えができると確信しています。

父なる神が生きておられることと、イエス・キリストが生きておられ、この教会を導いてくださっていることを証します。主は神権の完全な模範です。トーマス・S・モンソン大管長は地上における神権のすべての鍵を持ち、行使しています。それが真実であることを証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。

## 注

1. ヒラマン 10 : 4-7
2. 教義と聖約 121 : 41
3. 教義と聖約 121 : 43
4. 教義と聖約 121 : 46